

用意するもの

- ・厚紙や画用紙
- ・えのぐと筆、ペンなどの画材
- ・はさみ
- ・両面テープやのり、またはボンド
- ・糸やテグス
- ・木や針金、竹ひごなどの棒
- ・きりや画びようなど穴をあけるもの

薄い紙だと湿気などで
丸まってしまうよ

どこでも TARO アトリエ

難易度
中級

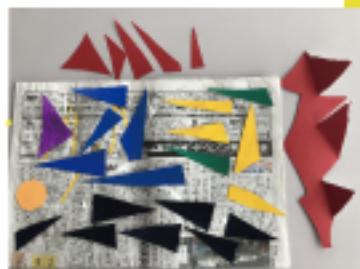
1 型紙をコピーして厚紙に転写する A3サイズくらいがおススメです

型紙を切ってなぞったり、厚紙を型紙の下にひいてボールペンで強くかいて線を写すといいよ

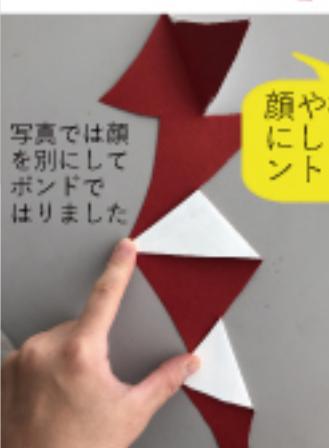
2 パーツを切り出して色をぬる とげとげパーツは余った部分で 三角に切ってみよう

細さや長さをかえて20個くらい作ってみよう

3 型紙の点線の部分を折って 貼り、模様を描きます



4 えのぐを乾かしたとげとげ パーツはバランスをみて 切って調整し貼り合わせます



顔や模様、色をオリジナルにしてもいいね！裏もペイントしても◎

5 パーツにきりなどで穴をあけ（穴を あける重心に注意！）糸やテグスな どを通し長めに切っておきます 木や針金などの棒に結びつけ、吊り 下げます

重心の決め方は
マスキングテー
ブで糸を仮止め
して穴を開ける
とやりやすい！

6 糸の場所や長さを調節 してバランスがとれた ら完成！

バランスは下にさがった
方に糸をずらそう

吊り下げる棒の準備

- ・棒の長さはパーツの大きさを並べて決めよう。1本でも、2本に分けても。分ける時は長い棒の片方に短い棒を吊り下げるバランスをとってみてね。
- ・針金はまっすぐでも、曲げてバランスをとってもいいね。固い針金はペンチを使おう。
- ・針金とテグスはすべて場所が固定されないので、針金をねじってわっかにしてずれないようにしてみてね。糸は巻きつけてボンドでも止められるよ。
- ・棒の重心（真ん中）にひもをつけておこう。



生かされなければならない。
実際に入れられ、
芸術はどんなに純粹で、
実験的であっても、何らか
の形で生活の中にとり

旧東京庁舎にあった大きな陶板レリーフ作品！
岡本太郎《月の壁》—1-9-5-6